ともに生きる市民の会
市政報告紙

淡紅だより

No. 38

2013年2月号

宝塚市議会議員
大島淡紅子（おおしまときこ）

■ 会派控室
●Tel 0797-77-2117
●Fax 0797-74-1810
●E-mail
goiken@tgikai.zaqrs.jp

■ 事務所
〒665-0816
宝塚市平井1-6-14
●Tel&Fax
0797-89-4090
●HP
http://ayumukai.jp/
●E-mail
o-ayumukai
@poem.ocn.ne.jp

☆月～金10:00～15:00
但し、不在のこともございますので、お電話をしていただいてからお越しください。
☆事務所のコピー機・印刷機（新機種入りました）ご利用ください。（有料）
☆事務所をグループ・サークル等の活動にご利用ください。（無料）
《使用日時は電話でお問い合わせください。》
☆事務所に教育・平和・食の安全等の本があります。お気軽にご覧ください。

誰もが幸せと言える社会をめざし、今年も皆さんとともに歩みます！

年末の総選挙の結果に愕然としました。

子どもたちが戦争地域に赴き、殺し殺されるという状況が現実として目前に迫ってきたからです。今回の選挙の隠れた大きな争点は、「リベラルな社会の存続」。

もちろん、多額の債務・中途半端な社会保障が目の前の心配ごとです。しかし、それも空気のようになっている平和があってこそ。平和なくしては、将来そのものが消滅してしまいます。

「力不足」という自分への猛省とともに、新たな一歩を踏み出すことをお誓いします。

「かまどの神様」清荒神にちなんだ、宝塚ブランドの「火男（ひょっとこ）」煎餅

議会報告

1 一般質問

1 長尾幼稚園新築計画について

Q これまでの計画の経緯

A 1963年建築で施設の安全確保が必要、また2004年設置の仮設園舎解消のため、建て替え計画の検討が始まった。現地は狭く、工事中の安全確保・教育環境の確保が困難で、仮設園舎の費用も増。広く、日照・景観に優れた予定地移転を2007年決定

Q 説明会では住民の質問や意見が出た。その概要と市の回答は

A 3回の説明会では、幹線道路に面した園の進入路が、傾斜のあるカーブにあり、安全対策（特に車両の出入り・路駐・歩道を走る自転車等）を問われた。その答えに、出入り口の歩車分離や交通安全の啓発の徹底をあげた。4回目の会では、渋滞問題や発生事故を問われたので、道路部局で信号・交差点の改良を検討していることや警察の調査を答えた

Q 市は今後どのように進めるのか

A 3月議会で工事請負契約締結を議決後、2014年1月に移転し、卒園式は新園舎で行いたい

現園舎は市内随一の狭さ。保健室や園長室もありません。年長さんは、プレハブの仮設園舎を使用しています。しかも、耐震基準を満たしておらず、劣悪な教育環境だけではなく、安全性の面でも早急な建て替えが必要です。また、園を移転すると長尾小学校の校庭に「ゆとり」が出来ます。今後、狭小な長尾小学校体育館の建て替えも円滑に進めることができます。その経緯からも議会は園舎の新築予算を承認しました。

しかし現状では次の問題点が指摘されます。

①一昨年9月議会で市教委は「住民には説明済み」と説明しました。しかし山手台地区の住民には、ライフライン工事直前の4月まで、何も説明はありませんでした。幼稚園に校区はないと言いながら、市教委は矛盾しています。

②山手台自治会の90％が危険と反対署名している状況で、住民との合意形成がないまま、建設に着工すべきではありません。あらゆる可能性を検討した上で、最も安全な方策を共に考えることです。まちづくりに熱心な市民たちの信頼関係を構築すべきです。

道路政策上、安全とは言い難い場所に出入り口があり、近年敷地に入る車に自転車が突っ込むという事故がありました。車の交通量調査を分析すると、登園時間はラッシュを過ぎるので渋滞はなくなりますが、逆にスピードが出ます。自動車の追突や自転車

の事故が多々ある場所は、果たして良い教育環境と言えるでしょうか。困難でも、出入り口・駐車場の場所は再検討すべきです。

子育て支援の観点で言うと、１日平均３人前後の預かり保育では保育所待機児童の解消にはつながりません。認定こども園の計画が消えた一つの要因も「自動車での送迎が困難」でした。

もう一つの考えたいポイントは、どんなまちをつくるかです。宝塚の開発地が高齢化していく理由の一つは、子育てしやすいまちではないからです。道路拡幅や新ルート開設が見込めないなら、良い生活環境を願うなら、自動車を使わない、まちの中で用が足りる自己完結型のまちづくりをめざすべきです。高齢者にとっても優しいまちづくり―バス路線の一本化（中山台線と宝塚山手台線）も必要ではないでしょうか。開発の進捗が52・9％の今なら、阪急との交渉も可能です。

長尾幼稚園建設予定地付近の道路状況

２　子ども委員会について

Q 子ども委員会設置の経緯は

A 子どもの意見表明・社会参加が目的の子ども議会を実施している。それをより一層推進し、子どもの意見を市政に反映するため、子ども委員会を設置

Q 今年度の子ども委員会の成果と改善点は

A ６回の委員会と意見発表会で、子どもたちの評価は高かった。子どもの自主性・主体性を尊重して、達成感を持ってもらった。時間が少なかったので、来年は開催回数を増やす予定

Q 子ども議会との関係は

A 議会は各議員の発表を議会形式で行う。委員会はグループで議論・見学の後、発表する。趣旨は同じだが、実施方法を変え、社会参加の機会を増やす

Q 今後はどうされるのか

A 引き続き、両事業を実施する

のびのびとした意見交換を意図し、外部の傍聴を断っています。しかし閉ざされた場で終わるのではなく、土別市・青森市のように、簡単な議事録や子どもたちの意見をHPに掲載すれば、今後の大人の意識改革や子ども委員の募集にもつながります。担当課の負担は、子どもたちとの間にサポーターを設けたことで軽減されましたが、事務量は増えるはず。特に初めての今年は、要綱に基づき立ち上げ、手探りでの運営と大変だったようですが、来年度も頑張ると言ってくれています。

子ども委員は小学生から高校生まで。違う年齢層の意見をまとめるという苦労があったようですが、多様な意見があるから幅広く物事を考えられると気づいたようです。「より良いまちづくりの観点から物事を考えるようになった」「子どもの自分たちでも社会を動かせる実感に感動した。」とも。

この子たちが、明日の宝塚を考える。素晴らしいと思いませんか。

２　主な議案・請願・陳情の審議

・平成23年度宝塚市一般会計歳入歳出決算認定→認定 反 大誠会

・議員定数及び議員報酬並びに職員給与等の３つのカット実現条例の制定→否決 賛 大誠会

…議員定数は同規模都市で最少、議員・特別職報酬は報酬審の答申どおり、職員給与は人事院勧告に準拠（100・6％）の理由で反対した

・宝塚市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定→全員一致可決

…行政委員会委員報酬調査専門委員の報告を受け、年間の勤務日数の少ない選挙管理委員会委員（委員長以外）の報酬を日額支給に

・宝塚市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例の制定→全員一致可決

…来年度から市立西谷幼稚園で３歳児保育、預かり保育の延長時間を現行30分から最長１時間30分に

・公の施設（市立養護老人ホーム福寿荘）の指定管理者の指定→可決 反 共産

…市立養護老人ホーム福寿荘を、来年度から２０１８年３月末まで（社福）晋栄福祉会が指定管理者。民間のサービス力に期待

・公の施設（市営住宅）の指定管理者の指定→否決 賛 公明・大誠会・大河内・藤本

…来年度から２０１８年３月末まで、（株）東急コミュニティーが指定管理。高齢者への取り組みが評価されるが、２年前・今年と社員の金銭着服横領事件があり、社内の危機管理体制が甘く、公金収納業務に不適切と判断した

・藤本誠議員の痴漢等の暴力行為に対する謝罪と議員辞職を求める請願→全員一致採択

…県の迷惑防止条例違反で罰金刑確定後、被害者が損害賠償請求訴訟中に藤本議員は当選。その間、尋問では一転し冤罪主張

・「子ども・子育て関連法（新システム）」を実施しないように国に意見書提出を求める請願→全員一致趣旨採択

・藤本誠議員に対する議員辞職勧告決議（案）の提出について→全員一致可決

…懲罰による除名には該当しないので、自主的な辞職を勧告するしかない

・村上議員が関与した私文書偽造届出書類等の取消しと宝塚市の適正な対処を求める陳情→結論を得ず

…決定的な証拠がなく、判断に至らず

ネット中継配信

ラジオFM宝塚では大島の一般質問を放送
2月12日（火）
13時～14時

危機管理 に関する調査特別委員会で行政視察に行きました

➢ 東京都文京区

①区議会地震等災害対策本部設置要綱

②区議会地震等災害対策行動マニュアル

③区議会での地震等災害時の運用訓練

災害対策本部設置後、議会独自で本部を設置することは珍しいので伺ったが、区議会議員の中にも賛否両論あるようだ。しかし、被災地では議員が個々に行政に訊ねるので、議長を本部長とした命令系統の一本化で情報収集や行動が整理されることはよい。しかし、行政側本部に議会代表者が入ることも考えられる。今後の検討課題だ。

文京シビックセンター（区役所・ホール・展望室などから成る総合施設）から見る東京スカイツリー

➢ 神奈川県小田原市

①防災ネットワークシステム

小田原市は、昨年 3 月に地域防災計画を見直した。100 人規模の宿泊体験訓練や、3 カ所の帰宅困難者用避難所設定、海底の形状から想定外だが、津波対策も民間 38 施設と協定締結している。正確な情報収集・伝達のため避難所に６名の職員を配備。また市内 20 カ所の地下埋設型耐震性貯水槽は、太い管路が水圧減で遮断弁が降り 100t タンクとなる。災害用指定井戸も 841 カ所ある。緊急交通路・輸送道路の確保のため標示が各所にあった。また防災情報システムは職員とベンチャー企業が共同でシステムを構築し、コストを抑えた。

文京区議会委員会室。ビル全体をグリーンと木材で統一

②災害時要援護者支援対策

昨年３月に支援マニュアル策定。これは、「公助」に特化したもの。市は個人情報保護の壁に当りながらも、所在マップを作り、救急要請カードの活用をめざしている。横浜市や三条市の「逆手挙げ方式」（名乗り出た支援不要な人をリストから除く）も検討しているとのこと。

小田原漆器の市章「梅」を配した、小田原市議会梅型ドーム議場。寄木細工のペーパーウェイトもあった

③再生可能エネルギー事業化検討協議会

環境面・経済波及効果・市民事業者の積極的参加・災害対策などの複数の観点から。「太陽光発電屋根貸し事業」「市民参加型メガソーラー事業」を 247 事業者出資の株式会社で運営。２月から始動。

武庫川と宝塚歌劇

田代ひろし

ネッカー川とハイデルベルグ大学

武庫川の河畔のマンションに引っ越してきて丁度三年になる。

宝塚大劇場、音楽学校の向かい。レビューも観劇できるし、温泉や花の道など、武庫川原も散歩ができて環境も気に入っている。

大島淡紅子市会議員を訪ねて、少し高台にある宝塚市役所を訪ねたことがある。立派な市庁舎で、ベランダから武庫川を見下ろして、二十年前に、西ドイツのハイデルベルグを訪ねた風景に似てるなと思った。そこでこの市役所を設計された、村野・森建築設計事務所の先生の発想を友人からの又聞きであるが、披露してみたいと思う。

流れ来て終の棲家か武庫の夏　　ひろし

ネッカー川とハイデルベルグ城

電通定年の一年前に、大阪高等学校（旧制）の先輩たちと、西ドイツ十日間の旅行をした。高校でドイツ語を Prof. Schinzinger に習ったドイツの歌を歌う旅である。

ハイデルベルグ城からネッカー川を見下ろすと、ハイデルベルグ大学がある町並みがある。ビアホール「赤牛亭」で、ドイツの国鉄合唱団と、長靴のビアカップで何度も乾杯しながらドイツの歌を一緒に合唱した。彼らから習った曲に、

Ich hab mein Herz in Heidelberg verloren.

私はハイデルベルグで恋を失った、という四分の二拍子マーチテンポであるが、ちょっと憂愁を帯びた曲だ、日本でもレコードが出ていた。この歌については、後日談があるが今回は省く。

武庫川にネッカー川の夏想う　　ひろし

武庫川と宝塚・ネッカー川とハイデルベルグ

初めに戻って、現在の宝塚市庁舎建設の話。その十年ほど前に、村野・森建設事務所に市庁舎の設計が依頼されたそうである。その先生たちの構想は、戯曲「アルトハイデルベルグ」に由来していたと友人から聞かされて、なるほどと思った。丘の古城を庁舎として、武庫川をネッカー川と見立てて、見下ろせば世界最古のハイデルベルグ大学。代わってこちらには、女学生の憧れ宝塚歌劇の音楽学校がある。

武庫川にハイデルベルグの夏かさね　　ひろし

ミュージカル「学生王子」

地方都市から出てきた王子（ハイデルベルグの学生）と、ウイーン出身の可憐な娘との、戯曲「アルトハイデルベルグ」は、ネッカー川にかかるカール橋や哲学の道、ビアホールを舞台に繰り広げられる、身分の違う同士の悲恋物語である。宝塚歌劇の演出家小池修一郎さんにこの企画を提案したら少しアレンジされて、ミュージカル「学生王子」として何度も公演され好評だったと言う便りが来た。

武庫川をはさんで夏のミュージカル　　ひろし

早苗田の会

杉山鮎水　選

十一月

（特選）丹精のぶつかり合える菊花展　峯子

◇凛として君子の如し大菊や　恵之輔

◇厚物の頭の整然と人迎ふ　綾子

十二月

（特選）白菊や利休の遺志の欠け灯籠　綾子

◇竹の幹くくとふれ合ひ冬深む　綾子

◇柿紅葉落ちてふかぶか浄土なり　純子

＜会員募集中＞

俳句は人の心のエッセンス。
月1回大島事務所で開催される句会に、一緒に参加しませんか。
ご連絡をお待ちしています!

淡と紅きの声

市民の力で継続！宝塚映画祭

私は市議の使命は、①行政や市民（議員）から出された議案を審議し、決定する　②政策提案する　③オピニオンリーダーとして市民運動に参加し、社会に発信する　④市民の相談を受け、対処する　と考えている。

特に④は奉仕と捉える市議も多い。しかし、相談内容は市政に係わるものが多く、議員は行政と市民とのコーディネーターとなり得る。国会議員と違い法律（条例）を作ることがほとんどない地方議員は、この機に問題点を洗い出し、市民にとって市政が「生きた政治」となるよう、質問や交渉でより良い回答を引き出す。だが、それが圧力となり見返りを求めれば、議員活動ではなくなるのだ／市民の意思を表明する手段の一つが「選挙」。政治に限らず「選挙」は代表者を選ぶだけだから、選んだ私とは当然１００％同じ考えではない。つまり、全権委譲なんてあり得ないし選んで終わりではない。選んだ私は、代表がより素晴らしい活動をするサポートだけでなく、変なことをしないようにチェックしておかなければならない。そのために、情報提供を求める。何を考えているかを知ることは、選んだ私の当然の権利だから／所属するサークルや会社は退会もできるが、市や国とは「行政」として１日たりとも離れることはできない。解らないから棄権ではなく、最悪な状況を回避するために選挙に行こう！

前衛芸術家・嶋本昭三先生 有難うございました！

宝塚造形芸大教授だった嶋本先生が、パフォーマンスで破壊するビルを探しておられ、伊丹の元こやいけ園（現阪神北広域こども急病センター）でのアート展にこぎつけたことからお付き合いが始まった。西宮ヨットハーバーでの継続的なパフォーマンスは、クレーンから宙吊りで原爆に見立てた絵の具入りの瓶を投げる。「兵庫県は平和のために百年間土地を提供してくれる」と仰っていた。具体美術協会創立メンバーの嶋本先生は、指導者・吉原治良氏の「誰もやっていないことをやれ」との教えの通り、大砲絵画やメールアート、障害者アートにも力を入れ、世界の４大アーティストにも選ばれた。

しかし、気さくな人柄で、多くのお弟子さん（美女が多い!?）に愛され、また関学の大先輩でもある。

あの世でも美女に囲まれてエネルギッシュにお過ごしください！　合掌。